令和６年度　大和町立小野小学校　学校経営グランドデザイン（全体構想図）

【学校教育目標】　心豊かで、自ら学ぶ、心身ともにたくましい　児童の育成
～明るく・賢く・強く生きる子供～

〇目指す児童像

・明るく生きる子供（徳育）〈もみじのように明るく〉
・賢く生きる子供　（知育）〈水芭蕉のように賢く〉
・強く生きる子供　（体育）〈七ツ森のように強く〉

〇目指す学校像

子供が行きたくなる学校　〈学びがいの創造〉
保護者が通わせたくなる学校　〈学校の魅力・よりよい連携の創造〉
教職員が勤務したくなる学校　〈働きがいの創造〉

〇本年度努力事項

持続可能な学校体制の構築（学びの保証）と校務の効率化

令和６年度（2024 年度）の重点努力事項
「子供の命を守ること　育むこと」

１　日々の授業の充実
・校内研究（算数）及び宮床中との連サポの推進
・高学年での一部教科担任制の継続
・自主研修（論文、ミニ研修等）の実施と継続

２　礼儀作法教育の推進
・礼儀作法虎の巻による共通理解と指導の徹底
・「あいさつ・返事・靴そろえ」の通年指導
・児童会による啓発と実践

３　児童の主体性を引き出す活動の推進

４　感染症や熱中症等に留意した生活様式の継続

５　特別な配慮を要する児童への支援・指導の充実
・特別支援コーディネーターを中心とした組織的な対応
・SSW・SC・めーぷるTAIWA・関係機関との連携強化
・支援の必要性に応じた人員配置の見直しと強化

６　教職員の働き方改革の推進
・新校務支援システムを活用した校務の効率化
・定時退庁日、月１全校４限の設定と保護者への周知

学習指導要領の趣旨

◎予測困難な未来社会を切り拓くための資質能力の育成
〇３つの資質能力の具体化
・生きて働く知識・技能
・思考力・判断力・表現力
・学びに向かう力・人間性
〇社会に開かれた教育課程
・学校と地域社会が目標を共有しながら連携・協働
〇カリキュラムマネジメント
・児童・地域の実態把握
・教科横断的な視点
〇授業改善
・主体的・対話的で深い学び
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
〇発達の段階を踏まえた支援
・学年や個人毎の発達に配慮

大和町立学校として　～分かる授業づくりとｉチェックの活用～

〇教職員・児童の事故、いじめ見逃し「０」　〈安心・安全〉
〇新規不登校、支援の必要な児童への対応の遅れ「０」〈教育機会の確保〉
〇児童の学力低下「０」（「教えるプロ」から「学びを導くプロ」へ）　〈学力保障〉
〇学校が楽しい「100％」　〈魅力ある学校〉

大切にしたい４つの力

〇人を大切にする力
〇自分の考えをもつ力
〇自分を表現する力
〇チャレンジする力